

べっかい 議会だより



67

“二百年の伝統の技” 献上西別鮭の製法を伝える（関連記事16ページ）

特集

郊楽苑の今後の運営を考える2

生涯学習センター建設基金に2億円積み増し..... 3

町政のここが聞きたい..... 6
一般質問（木嶋・中村・瀧川・森本の4議員）

シリーズ 志を受け継ぐ べっかいぎょぎょうどうくみあい 別海漁業協同組合.....16



2013.11.1
北海道別海町議会

特集

郊楽苑の今後の運営を考える

これまでの経緯

旧別海町交流センターは、約8億6千9百万円を投じ、別海町が建設、第3セクター(株)ベツカイ振興公社が運営してきました。

しかし、経営については非常に厳しく、年間1300万円から多い年度で9000万円の補助金などを投入し、施設を存続してきました。

町は、平成20年に恒常的な赤字の解消と、より一層の経営効率化には民間活力の導入が望ましいと判断し、(株)ベツカイ振興公社を平成21年3月31日で解散することを前提として、売却する公募をしましたが、応募がありませんでした。

そのため、平成21年5月に賃貸施設として再公募を行い、資格審査を経て、平成21年7

月に(株)郊楽苑と契約しました。

このときの募集要項においては、「現状有姿」で貸し付けということになっていました。

しかし、昨民法に基づき契約書の見直しを行い、平成24年度において(株)郊楽苑が投資していた資産相当額などを町が負担し、今後においては町が施設延命のための経費を負担することとしました。町が負担する内容としては、

- ① 温泉の源泉施設、水道水の給水施設に係る必要な修繕や改修工事とその電気代。
- ② 施設維持に必要な各種法定点検に係る費用。
- ③ 通常運営維持していくために、必要な施設と主要な機械の修繕などです。

検討委員会の設置

町は、平成26年度以降の運営方法や体制について方向性を明確にさせるために、8月に旧別海町交流センター検討委員会を設置しました。

委員会は公募の町民や各種団体代表ら14名で構成され、今までの経過、今後の運営体制と問題点の整理、保全計画の概要などを検討しています。

想定される運営形態と問題点

- ① 賃貸借契約(新たな条件により、公募を実施することができると想定)。
- ② 指定管理(町主導で運営ができるが、指定管理料の設定、支払いが必要となる)。
- ③ 売却(町費負担が軽減できるが、運営についての影響が及ばない)。

保全計画と今後の方針

町は昨年12月定例議会で、契約内容の見直しと今後10年間の保全計画の調査を行い、平成26年4月以降の契約については再公募などを行うと説明してきました。

旧交流センターの保全調査は3月に報告されていましたが、「保全計画については一切決まっておらず、検討委員会で議論しているの」で公表は控えた」として産業建設常任委員会には8月、全員協議会での説明は9月となりました。

昨年9月定例議会で議決された附帯決議が活かされていません。議会として、今後とも郊楽苑の運営について、調査・審議を続けていきます。

(8・10ページに関連記事)

旧交流センター保全計画の概要(今後10年間)

建築工事	浴場トップライト部屋根、浴場内改修、外壁タイル部分補修、内装改修など	7080万円
電気設備工事	照明器具、非常放送、火災報知機の更新、受電設備(キュービクル)の更新など	5009万円
機械設備工事	空調機主要部品、換気扇の更新、温水ボイラーの更新など	8850万円
温泉設備	使用ポンプの更新、予備ポンプの更新など	1300万円
総 合 計		2億2239万円

9月 定例議会

9月10日～13日開催

9月定例議会は、9月10日から4日間の会期で開かれました。審議のようすをお伝えします。

今回の補正予算では、地方交付税額の確定により2億5千万円交付され、また、24年度決算で2億3千万円繰り越されました。国の元金交付金事業を財政調整基金を財源に実施していたこともあり、財政調整基金に

3億3千万円繰り入れました。これにより財政調整基金の残高は約25億3千万円となりました。将来の建設コストの変動を予想し、生涯学習センター建設基金に個人からの篤志寄付5万円と、今回の補正予

算で2億円積み増しました。これにより生涯学習振興基金の残高は約3億3千万円となりました。

生涯学習センター建設基金に2億円積み増し

平成25年度 補正予算概要

補正額

予算総額

一般会計（3回目の補正）

2億5020万円 増

153億8670万円

介護保険特別会計（1回目の補正）

150万円 増

9億1670万円

一般会計の主な補正（歳出）

- 生涯学習振興基金積立金（生涯学習センター建設基金） 2億5000万円増額
- 市街地活性化計画策定事業 64万円増額
- 地域介護・福祉空間整備事業（補助金） 3200万円増額
- エゾシカ被害対策事業（有害駆除） 1650万円増額
- 新規就農者対策事業（新規就農者補助） 300万円増額
- 起業家支援事業（起業家支援補助） 300万円増額

一般会計の主な補正（歳入）

- 地方交付税 2億5662万円増額

介護保険特別会計の主な補正（歳出）

- 交付金精算経費（償還金確定による） 110万円増額

介護保険特別会計の主な補正（歳入）

- 繰越金 2019万円増額
- 介護給付費準備基金繰入金 3062万円減額

高齢者や障がい者の雇用創出に補助金

地域介護・福祉空間整備事業は、高齢者や障がい者の雇用の場を確保し、社会参加の促進と地域の中で生きがいのある生活を送ることができるよう支援していくことを目的としています。

今回は国からの補助金を町を経由し民間会社に補助します。乳業メーカーから排出された食品副産物をリサイクルしてペレット状の肥料を製造する施設が建設されました。これにより高齢者や障がい者の雇用の場の確保が図られます。

床丹漁港が整備されました

施設の老朽化から矢板部分の腐食が進み、漁港施設としての安全性が図られない状況です。今回、物あげ場のかさ上げに伴い、公水面の埋め立てに同意しました。



物あげ場をかさ上げし整備された床丹漁港

国に意見書を提出

8件の意見書が提出され7件は全会一致で可決。自衛隊体制の充実・強化を求める意見書は、賛成多数（賛成13名反対3名）で可決した。

◆道州制導入に断固反対する意見書

提出者 戸田 博義 議員
他4人

国が進める効率性や経済性を優先した大規模なものでなく、自治体の存在を認め、活力を高めることが重要。

◆在沖縄米軍による砲弾誤射事故に関する意見書

提出者 戸田 憲悦 議員
他4人

沖縄米軍実弾射撃訓練で誤射事故が発生したことを受け、情報提供や実効性のある再発防止策を求める。

◆地方財政の充実・強化を求める意見書

提出者 沓澤 昌廣 議員
他4人

今年度は、地方公務員の給与削減を要請する事態があり、新年度

は、地方公共団体の安定的な財政運営の実現のため財政の充実・強化を要請する。

◆義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書

提出者 中村 忠士 議員
他4人

公教育の地域間格差を生じさせないため、教職員定数の改善、教科書の無償提供の堅持など義務教育予算の確保・拡充を要請する。

◆地球温暖化対策に関する意見書

提出者 木嶋 悦寛 議員
他4人

自然環境が生み出す再生エネルギーの取り組みのため、税収の一定割合を森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を強く求める。

◆アザラシの保護管理対策に関する意見書

提出者 産業建設常任委員会
委員長 安部 政博

ゼニガタアザラシは絶滅危惧種で希少鳥獣に指定されて増加傾向にあり、漁具被害を与え、地元の深刻な状況から総合的な保護管理対策を早期に確立することを求める。



アザラシ被害による無残な姿の秋サケ

◆道路の整備に関する意見書

提出者 産業建設常任委員会
委員長 安部 政博

根釧地域は、広域分散型社会を形成しており、道路は交通の要衝として重要で、地方の自主性・裁量性を重視した良い制度とするよう求める。

◆北海道の自衛隊体制の充実・強化を求める意見書

提出者 松原 政勝 議員
他4人

自衛隊は、国土防衛のほか、災害時の救援・救難活動や救急患者の搬送など、道民の安全安心の確保に大きな役割を果たしている。

また、地域経済、地域社会にも大きな役割を果たしている。よって、体制の充実・強化を強く求める。

自衛隊体制の充実強化についての討論

反対 瀧川榮子議員

基本的に自衛隊は、憲法9条で「戦力を保持しない」「国の交戦権はこれを認めない」としており、憲法に違反する存在だと考える。人類は幾多の争いで武力での紛争は解決出来ないことを学び続けてきた。自衛隊の充実・強化ではなく縮小の方向に向かわせるべきと考える。

賛成 安田輝男議員

自衛隊に対する意見は、考え方・見方・認識などで見解の相違がある。駐屯地は、49年にわたり地元町内会を構成、各種行事に参加し、国防や災害など緊急時の対応と体制を確立、駐屯地周辺地域と大きな関わりを持っている。よって、さらなる充実・強化を求める。



来春リニューアルオープンにむけて改修中の全天候型トラック

工事請負契約の締結を承認しました

第3回臨時議会

平成25年7月26日



島田安信さん



木村健吾さん



武田 隆さん

委員の選任に同意しました

◆別海町固定資産評価審査委員会委員

任期満了に伴い、島田安信さん(尾岱沼)と、木村健吾さん(別海)の再任、武田隆さん(西春別駅前)の選任に同意しました。任期は、いずれも平成25年10月1日から平成28年9月30日までの3年間です。

委員の推薦を承認しました

◆人権擁護委員

任期満了に伴い、菅原日出男さん(別海)と、保田千恵子さん(別海)の推薦を承認しました。任期は、いずれも平成26年1月1日から平成28年12月31日までの3年間です。



菅原日出男さん



保田千恵子さん

- ◆全天候型トラック改修工事
- ◆東朝日地区農道改良舗装工事
- ◆西春別駅前団地公営住宅(7号棟)(8号棟)建設建築主体工事
- ◆中春別福祉館改築建築主体工事
- ◆中春別中学校校舎改築建築主体工事
- ◆中春別中学校

校舎改築強電設備工事

いずれも、工事請負契約の締結にあたり、予定価格が5000万円を超えるため、議会の議決を求められ、簡易公募型指名競争入札により落札されました。

財産の取得を承認しました

- ◆ロータリー除雪車購入
 - ◆し尿収集車購入
- いずれも、財産の取得にあたり、予定価格が1500万円を超え

るため、議会の議決を求められ、指名競争入札により落札されました。



改築により耐震化される中春別中学校

- ◆町道泉川北4線交付金工事(舗装)
 - ◆西春別駅前西町北2号線改良舗装工事
- いずれも、工事請負契約価格5000万円を超えるため、議会の議決を求められ、簡易公募型指名競争入札により落札されました。

第4回臨時議会

平成25年8月28日

工事請負契約の締結を承認しました

町政の ここが聞きたい

9月定例議会では2日目(9月11日)に4議員が一般質問をしました。各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。詳しい議事録は町のホームページに掲載します。

■木嶋 悦寛 議員……………7

- 1 中国への訪問団派遣、目的と成果は
- 2 学校給食などの放射能検査を

■中村 忠士 議員……………8

- 1 郊楽苑保全調査の結果を公表しなかった理由は
- 2 TPP反対の全町民集会開催で全国にアピールを

■瀧川 榮子 議員……………9

- 1 保育入園の充実を
- 2 住民の交通手段、効率的な運用を
- 3 介護保険サービスの継続は可能か

■森本 一夫 議員……………10

- 1 旧交流センター(郊楽苑)の今後は

議会広報モニターにインタビュー

9月11日(水)定例議会2日目に議会広報モニターの3名に議会傍聴をしていただき、その後意見交換を行いました。出席されたのは福原義親さん(本別海)、鈴木郁夫さん(中春別)、中川達己さん(別海)です。

- 福原** 議会開催の案内が不十分。質問者は誰なのか、何時から行うのかなどわかるといい。もっと若い人や女性にモニターをやってもらおうと、興味が変わってくると思う。
- 鈴木** 議員の皆さんと話す機会がほしい。意見交換の場があったらいい。現在は物足りない
- 福原** ご意見箱が必要では。オールカラーの議会だよりは高くてつかないか。予算のこともあるので。
- 中川** 道内の町議会でのどの程度広報紙を出しているのか。
(136町村中119町村が議会広報紙を発行しています。)



左から中川さん、福原さん、鈴木さん

短い時間でしたが様々なご提案や、ご意見をいただきました。

議会広報モニターには現在8名の方に登録いただいています。幅広い意見をいただくために、年齢や性別などに配慮しながら、さらに多くの皆さんに参加していただければと考えています。

今回お話しいただきましたことは、これからの活動の参考にさせていただきます。

木嶋悦寛議員



中国への訪問団派遣 目的と成果は

木嶋議員

産業振興部長 労働研修生受け入れ 協議と市場調査

町長、議長、外国人技能実習生共同受入れ事業所代表者、商工会代表者と私の5名。
訪問の目的は、中国との経済交流で、労働研修生受け入れのための実務者協議と、農水産物流通の可能性を探る視察研修である。
成果は、労働研修生の受け入れについて、受入事業所と中国側との間で合意に至った。早ければ来年4月から中国人労働研修生を受け入れる。

質問
町の一次産業が生き残っていくため、高サービスマ提供、高品位商品開発など、差別化による需要獲得など基盤強化についての考えは。
有田産業振興部長
高品位な生乳生産地域として、選ばれる酪農郷を目指したい。すでにべつつかい乳業興社製アイスクリームの大手コンビニチェーンでの道内販売開始や

ベトナムへの輸出計画、漁協による秋鮭の高次加工製品開発を行っている。
先月根室管内1市4町ほかと食を通じた豊かな緑に関する覚書を締結した。食品の付加価値化、ブランド化により、販路拡大を進め、観光振興を図りたい。

質問
観光客の実際の話から町内のインフォメーションの悪さが指摘されている。
質問
拡散される放射能汚染の脅威に対し独自の監視が必要である。
この地域の産業を守るために町長はどのように考えているか。

高品位で安全な農水産物の提供やインフォメーションなど観光インフラの整備は重要であり、官民一体となつて進めていきたい。
の責任は大である。町独自の行動が必要ではないか。
真籠教育長
道教育委員会で行っている給食センター70カ所のモニタリング調査や、食材納入業者による調査などがあり、公表もされている。現時点で独自検査の考えに至ってはいないが、町内に実績のある調査会社もあることから、町民に安心してもらうために試行的に検討したい。

質問
中国へ訪問団が派遣されたが、訪問団のメンバー、訪問の目的と成果は。
有田産業振興部長
訪問したメンバーは

質問
当初、中国の特定の市と友好都市提携および経済交流の話もあったが、現在もその方針に変わりないか。
有田産業振興部長
国家間の諸問題などがあり実現に至っていないが、時期などを考慮し、今後も友好都市の提携を模索したい。



青島研究所における労働研修生受け入れ協議

質問
学校給食は、子どもたちに直接関係する部分であり、提供する町

の責任は大である。町独自の行動が必要ではないか。

中村忠士議員



郊楽苑保全調査の結果を公表しなかった理由は

中村議員

産業振興部長 数字が一人歩きする恐れがあるためだ

質問 郊楽苑が閉鎖されたら困るといふ町民がいる現実をふまえるとともに、運営に関しては自治基本条例に基づいて民主的に行われなければならない。この基

本的立場から質問する。335万円かけて保全計画のための調査をし、その結果が3月に出ています。

町は調査結果が出たら議会に報告し、町民にも公表するとしていた。今日、議会に報告されるといふことだが、これまで公表されなかった理由は何か。

有田産業振興部長

今後の方向については決まっていない。その段階で数字を知らせると、数字だけが一人歩きをする恐れがあるので公表を控えてきた。

質問

数字が一人歩きするとはどういうことか。

水沼町長

正確な情報を知らせるべきだということだ。しかるべきときにしかるべき形で伝えていくのが本来の姿である。

質問

3月に出た調査結果は正確な情報ではないということか。それでは説明にならない。

郊楽苑の方向性を決める検討委員会は、町民の一定の意見を集約する場として重要な機関だが、さらに広範な町民の意見を集約する方法は考えているか。

また、検討委員会の審議状況についての公開は行われるか。

水沼町長

検討委員は町民の代表である。町民のいろいろな意見を聞きながら議論されてきているのだと思う。

検討状況の公表は、委員会の議論に影響を与えることがない方がいいので、考えていない。

質問

賃貸借契約は平成26年3月31日までとなっ

ている。

町は、この期限を守るとし、その後は白紙の状態から新しい借り手を公募するとしてき

たが、それに変わりはないか。

有田産業振興部長

新たに公募するとい

中村議員 TPP反対の全町民集会開催で、全国にアピールを

町長 管内一体で行動すべきと

考えている

質問

TPP（環太平洋連携協定）への疑問、不安、反対の声は広がってきている。しかし、政府はアメリカと年内受結で合意するとして前のめりに進んでいる。情勢は一刻の猶予もできない緊迫した段階に入った。

質問

水沼町長

町独自の対策本部を設置する必要がある。

管内一体で行動すべきと思っ

水沼町長

今すぐ設置するといふことは考えていないが、今後の状況に応じ

質問

新篠津村、せ



TPPは地域社会に大きな影響をあたえる

うことにしているが、検討委員会の意見も参考にし、検討していく。

たな町、さらに十勝管内の市町村で住民集会などをそれぞれやっている。別海町が立ちあげれば大きなインパクトを与える。町民集会を開く決断を。

水沼町長

管内一体となって取り組んだ方が効果がある。

瀧川議員

保育園入園の充実を

町長 全員が入れる状況を
早急に作る事が大切だ

質問

町立別海保育園は、定員超過のため、入園の希望はあるが、中途入園の受付はない。入園の基準は何か。

質問

入園の判定に不満の声がある。現状解決のために今後考えられることは何か。

佐藤福祉部長

居宅外労働を常態とするなど6つの基準がある。入園の可否は、点数化し客観性を持たせ、きめ細かく実態に即したものとした。点数の高い家庭から順に入園となった。

佐藤福祉部長

6月補正で別海保育園の内部を整備し0歳児と1歳児、計5人の混合保育のスペースを確保した。新たに生まれる0歳児入園希望は見込めない状況にあるが、入園できる対応を今後検討していく。

佐藤病院事務長

道からの補助を受けなければ町の負担は大きくなるか。

院内保育所は看護職員との安定確保を目的としている。院長が認めたい時は期間限定で入所対象とすることができると道からの補助は70〜80万円程度でありあまり影響はない。

水沼町長

待機児童で入所が必要な時、入れる状況を早急に作っていくことが大事だと思っている。



瀧川榮子議員

質問

深夜勤務の職場が病院や老人保健施設、特別養護老人ホームの他にもある。福祉の町として、院内保育所利用は可能にならないか。



開放を求める声が聞かれる町立別海病院の院内保育所

質問

住民の交通手段として3年前の質問で「ドアからドアへの輸送を低額で提供するデマンド方式の必要性を有効と考え、検討を進めていきたい」と答弁している。検討が進められているか。

瀧川議員

住民の交通手段 効率的な運用を

総務部長 有用性は十分認識

竹中総務部長
現在、釧路行き民間バスなどに接続できる

質問

介護保険制度見直しの中で、効率化が言われている。要支援者へのサービスは低下させず予算の中で実施することができるか。

瀧川議員

介護保険サービスの継続は可能か

町長 地域の実情に合った福祉政策が必要

よう事業者と調整を図り、4路線を運行している。利用者の需要に応じて運行する交通システムの有用性は十分認識している。今後、社会環境の変化に対応する公共交通網の形成や運行方式見直しを検討する中で、現在の地域バス制度のメリット、デメリットを勘案しながらあわせて検討する。

佐藤福祉部長

今のままの財源移行が前提であれば、町はやっていいと思う。各介護事業所における要支援者の受け入れ

水沼町長

地域実情にあった福祉政策が進んでいくよう、いろいろな場で訴えていく。

森本一夫議員



旧交流センター(郊楽苑)の今後は

森本議員

町長 検討委員会の結論を踏まえて判断する

考えているのか。

水沼町長

市街地で唯一の入浴施設であり、地域の活性化、福祉の観点からも大変重要な施設で今後とも存続していきたい。現在、旧別海町交流センター検討委員会で協議しており、今後の方向性を出したい。

質問

設置時の目的と対外的なセールスポイントは。

水沼町長

都市との交流、観光客の宿泊施設、町民の憩いの場として計画されたものと承知している。

質問

最近、町外のお客が減少しているが、運営について意見や指導はできないのか。

質問 当町に銭湯がないことや、老人の福祉、対外的な交流の場として多くの町民が存続を望んでいる。町長は今後どのような方向で施設の運営を

水沼町長

(株)郊楽苑は、一般の会社であり、町民の意見や苦情などについては知らせている。

企業努力でお客様に満足を与えていくことと思っている。

質問

昨年度、修繕に係る補正を行った。調査結果に基づき改修計画は策定されたのか。

今後必要となる年度毎の改修予定額は。

有田産業振興部長

今後や年間の工事が必要な箇所および金額は示されたが、改修計画は策定していない。

質問

今後、修繕にかかる費用を発表することは可能か。

有田産業振興部長

議会終了後に資料を配布するが、平成26年度は3158万円、27年度2838万円など10年間で2億2239万円ほどです。

質問

当初の契約で2ヶ月前に解約について通告するという契約を締結しているが、借地借家法で1年から6ヶ月前に解約の通告を相手方にしなさいとある。契約書の不備があつ

た時に弁護士に相談しているが、6ヶ月前と認識したのか。

有田産業振興部長

5月の時点で認識した。

質問

数日しかないが、町側から解約の通告は可能か。

有田産業振興部長

検討委員会の成り行きによるが、間に合わないことも考えられる。別な方策も考えたい。

質問

2ヶ月前で借主が承知しなければ、上級の法令が優先される。通告をしなければ従前と同一内容で更新したもとなる。これについて認識しているか。

有田産業振興部長

契約期間の満了する

2ヶ月前までに双方より解約の意志がない場合は、本契約が1年延長され、以後毎年この例によるということであり得ないことではない。早急に検討したい。

質問

町長は昨年12月議会で白紙に戻すといっているが、事務的な遅れでこのまま延長となることは町民も私も納得できない。

水沼町長

白紙に戻し公募すると申し上げている。検討委員会で議論されているので理解いただきたい。

質問

検討委員会の結論は何月何日にできるのか。

水沼町長

いつ結論をととははつきり申し上げられない。



温泉水加熱のため導入したまきボイラー

各常任委員会の うごき

6月定例議会から9月定例議会に行われた各常任委員会の活動について概要をお知らせします。

総務文教常任委員会

担当部署 総務部
教育委員会

指定管理へ向けての スケジュール

第2回定例議会において、公の施設に係る条例の制定が行われ、町教育委員会では、指定管理手続きに関する事務処理要領について、町体育協会と協議を進めています。

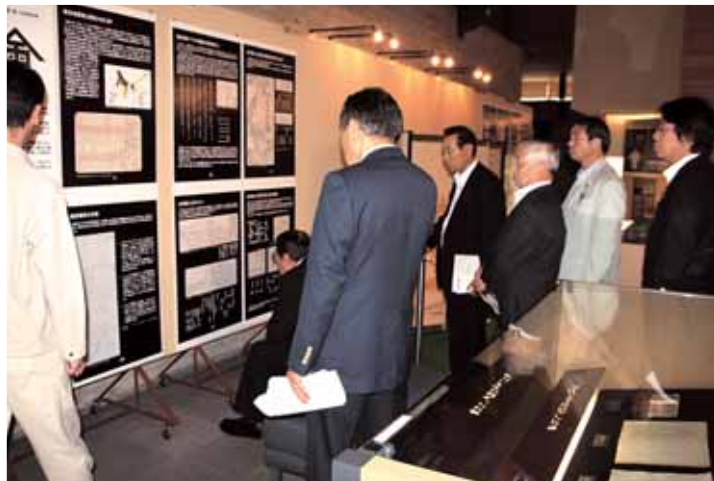
指定管理者選定に係る議案は12月定例議会に提出される予定です。

本会議での議決を経て、予定としては平成26年4月から社会体育施設などが指定管理者により業務運営が行われます。委員会では、円滑な運営が図られるよう継続して調査を行います。

未来へつなぐ自然と 歴史

別海町郷土資料館と

委員長 松原政勝
副委員長 杏澤昌廣
委員 中村忠士
委員 戸田憲悦
委員 木嶋悦寛



貴重な展示物を守るため加賀家文書館のような新たな展示保存施設が求められている。写真は加賀家文書館。

別海町加賀家文書館および別海町図書館の調査を実施しました。郷土資料館は昭和52年に別海町文化センターとして開設され、昭和56年に併設されました。展示室は旧西別小学校体育館などが利用さ

れており、経年による施設の老朽化が著しく、展示収蔵資料にも影響を及ぼしています。郷土資料館の改築計画は、第6次総合計画で基本計画を策定し、第7次総合計画において建設したい旨の報告がありました。委員会としては、町民はもとより町外の方々にも、この町の歴史や自然を知って

もらいたいと考えます。施設が活用されてこそ意義があるからです。

新たな施設は町の歴史・自然といった財産を永久に保存していく施設でなくてはなりません。建設にあたっては、多くの調査が必要であると思います。

学校耐震化の現状

学校耐震化改修状況について、別海町の全18校が非構造部材※について対策を講じていないという報道がありました。

当町では、人的被害の可能性がある案件すべてを要対策とし、可能な部分から順次実施しています。今後も学校の耐震化（非構造部材を含む）



耐震化に向けて調査中の中西別中学校講堂

について、早急に進めていくと教育委員会より報告と説明がありました。

※非構造部材

あらゆる建築物の骨格となる柱や梁など、躯体以外の材料のこと。

建物の重量を支える必要がないため、強度性能が求められていないが、落下や崩壊などの事故を防ぐため耐震化が進められている。

福祉医療常任委員会

担当部署 福祉部
町立別海病院

委員長 小林敏之
副委員長 山田 信
委員 戸田博義
委員 森本一夫
委員 松壽孝雄

廃棄物の処理の現状

平成24年度のごみの総排出量は、5200t強で、うち資源化再利用量は約1210tです。またリサイクル率は22・7%です。

不法投棄は続いており、町では各種の対策を実施していますが、



なくならない悪質な不法投棄

平成24年度は、決算上は300万円強の赤字となっておりますが、一般会計からの赤字補てん繰入れが2200万円です。しかし、当町の1人当たりの療養費は道内で2番目に少なく、高

額のない悪質な不法投棄がなくなり、平成24年度は、決算上は300万円強の赤字となっておりますが、一般会計からの赤字補てん繰入れが2200万円です。しかし、当町の1人当たりの療養費は道内で2番目に少なく、高

額のない悪質な不法投棄がなくなり、平成24年度は、決算上は300万円強の赤字となっておりますが、一般会計からの赤字補てん繰入れが2200万円です。しかし、当町の1人当たりの療養費は道内で2番目に少なく、高



新体制になった柏の実学園

国民健康保険の現状

無くなっています。一般廃棄物の最終処分場も残容量が1万1600m³で、あと20年で終了となるため分別収集を徹底したいと報告を受けました。

社会保障制度改革の行方

現在行われている社会保障国民会議の最終報告の内容について説明を受けました。

社会保障関係費は大幅に増加し、現在65歳以上の高齢者1人を2・7人で支えています。2060年には1対1になると想定されます。

このことは現在約9兆円の介護費用が2025年に20兆円に、医療費は40兆円程度になると推計されます。

子ども・子育て支援は、未来への投資と認識し取り組むべきで、妊娠・出産から子育てまでのトータルな支援や、すべての子どもへ良質な発達環境の支援を充実することが必要となります。

子宮頸がんワクチン集団予防接種の中止

6月14日付で都道府県知事宛てに「積極的な勧奨を一時中止する等」の通知勧告が出されたことから、当町は第1回集団接種を延期しました。厚生労働省の見解から、集団による予防接種の中止を決定し、接種対象者や保護者、町内中学校に通知しました。

なお、子宮頸がんワクチンの接種を中止するものではないため個別に接種が可能との報告を受けました。

柏の実学園の改善状況

7月3日、北海道知事からの勧告と根室振興局長から文書による指導事項が手交され、7月31日、町職員も同行し「改善状況報告書」を提出しました。

町は今後、改善事項の実施状況についてその都度報告を受けるとともに、町としてできる範囲の必要な支援を検討すると報告を受けました。

報告を受けました。

産業建設常任委員会

担当部署

建設水道部
産業振興部
農業委員会

委員長 安部政博
副委員長 瀧川榮子
委員 安田輝男
委員 佐藤初雄
委員 西原浩
委員 今西和雄

バイオの先進地に学ぶ (8月6日～8日)

バイオガスプラント (鹿追町)

鹿追町は平成18年に「バイオマスタウン構想」を策定し、バイオガスプラントと堆肥化プラントを建設、平成19年度から稼動しました。

1日の処理能力は、ガスプラント95t、堆肥化プラント41tで、成牛換算1300頭が排出するふん尿量に相当します。
この施設を有効に利用し、生産された消化液は年間800haに3万tを散布しています。また堆肥も広く地域に還元することで地域循環型農業システムが構築されています。
鹿追町長が最後まで

視察に同行し説明者の一員として参加されたことも、行政の協力的な強さを表していると感じました。

(有)小林牧場(江別市)

小林牧場は地域の宅地化などにより、3度目の移転で現在の地に落ち着きました。しかし、再び住宅地が迫り、糞尿処理、臭気対策が急務となってきました。

平成22年度、畜産担い手育成総合整備事業でフリーストール牛舎、パーラーを整備し、23年度に、嫌気性発酵施設(300頭規模)を完成させました。
殆ど臭気のない広い牛舎の前で、「環境を守

るためには大きなコストがかかる。そのため取り組みには当然負担が伴う」という小林社長の言葉は、一人一人の意識を高め、身近な課題解決に向け積極的に取り組む必要性があることを改めて感じさせられた場面となりました。

エゾシカ残渣処理施設(興部町)

生ゴミの微生物処理

をエゾシカの処理に活用し、成功した実例です。

木製チップ、バークで菌床を作り、微生物利用で発酵熱(70～80℃)が発生し、エゾシカを約3日間で白骨化できます。

小規模ですが、低コストであり、実用化への期待を感じました。

中小企業振興へ「行動指針」策定される



バイオガスプラントで固液分離した堆肥。肥料として使われている。(小林牧場)

「別海町中小企業振興基本条例」に基づき、5つの行動指針※が策定されました。
今後、「別海町中小企業振興審議会」を設置し、施策の実施状況の点検・評価を行い、見

直しを図っていくことになりました。

畜産環境に関する条例を検討へ

農業の経営規模拡大による環境負荷の増加、相次ぐ家畜糞尿などの流出の発生を受け、農業と漁業が共存するための課題解決に向け、条例制定が検討されています。

※5つの行動指針

- I 中小企業の経営基盤の強化と雇用の創出
- II 産業連携促進体制の構築
- III 地域内再投資力の強化と集客・交流産業の振興
- IV 産業人・担い手の育成
- V まちづくり計画の推進

TPP交渉と配合飼料価格の動向を学ぶ 議会運営委員会研修

(8月26日 札幌)

■ TPP交渉参加に関して(北海道庁)

平成25年7月23日に日本が初めてTPP交渉(マレーシア)に参加しましたが、秘密保持契約の徹底により情報が少なく苦慮しています。

今後の道庁のスタンスは、交渉により収集した情報などについて十分な情報提供と説明を行うとのこと。本道の農水産業はもとより、食の安全、医療、公共事業など本道経済や道民生活に影響が見込まれる場合は、断固とした対応を行うとのことでした。

当町としても具体的な対応に備えての体制作りが急務と感じました。

■ 世界の穀物需給情勢と国内配合飼料価格の動向(ホクレン)

平成25年度米国のトウモロコシは豊作と予想されていますが、前年の不作の影響で在庫量が少なく、価格の変動につながる恐れがあります。

また、バイオエタノールの原料へのシフトで高値止まりとなつていきます。

今後は米国以外の穀物の価格推移や国内備蓄量を注視することが必要です。

ホクレンも情報の収集と価格の安定化に努力するものの、酪農家、



ホクレンから説明を受ける議会運営委員会

JA自らの努力も重要です。

特に「草地の植生改善事業」などが有効な手段となることから各JAの取り組みを情報共有することが必要と感じました。

(安部議員)

「伝える広報」からさらに「伝わる広報」へ 広報特別委員会研修

(7月29日～30日 東京都)

全国町村議長会主催の議会広報研修会が全国から600人が集まり2日間の日程で開催されました。

初日は、3講師による研修が行われました。

山田貞雄氏からは、見出しを的確にし、専門用語への手当、漢字と数字表記を工夫し、日本語をふさわしく表現し、わかりやすくすることを学びました。

長澤忠徳氏には紙面デザインの基本知識として、構成センスの良いレイアウトのために、余白を生かし色彩を上手に使うこと。読ませる魅せるためにはテキストを短く要領よくまとめることが大切であると学びました。

川西正行氏には撮影方法と表現方法について学びました。撮影の

3原則は「アングル」「構図」「被写界深度」で、この組み合わせにより優しさや力強さ、躍動感が表現されることでした。

2日目は、芳野政明氏から議会広報のクリエイティブを受けました。

当町の議会だよりの改善点としては、色使いを派手にしない、記事中の数字表記は漢数字から洋数字にした方が良いでしょう。

なお裏表紙の「志を受け継ぐ」と連動する写真および企画意図が素晴らしいと好評価を受けました。

3原則は「アングル」「構図」「被写界深度」で、この組み合わせにより優しさや力強さ、躍動感が表現されることでした。

ました。

今後も研修会で指摘されたことを改善し、町民に関心を持って読まれる広報紙を目指して努力していきたいと思えます。

(松壽委員)



伝わる広報紙作りに向け研修を受ける

議会のうごき

議員定数等調査特別委員会報告

魅力ある議会と議会活性化を目指して毎月委員会を開催しています。

議員定数・議員報酬については、道内における人口・面積・一般会計規模の他町村の資料などを基に調査しています。

また、議員報酬の日当制についても検討し

ましたが、議会活動・議員活動・公式行事の参加を厳密に定義つけ

することは難しいという判断から、導入は見送ることとしました。

さらに、議会改革先進事例を学びながら、議会の広報と広聴のあり方についても検討することとしています。
(西原委員)

平成24年度各会計決算審査特別委員会

平成24年度一般会計・国保会計など8会計の決算内容を審査するため、各会計決算審査特別委員会が設置されました。

審査は10月から11月にかけて行われ、12月の定例議会で全議員に報告され、認定について採決します。

決算委員会の構成は次のとおりです。

委員長 小林 敏之
副委員長 松原 政勝
委員 安田 輝男
佐藤 初雄
戸田 憲悦
瀧川 榮子
今西 和雄
松壽 孝雄

議会報告会

～ともに語ろう別海町の未来～

平成25年度

地区名	日	時	会場
本別海地区	11月6日(水)	午後1時～午後3時	本別海地域センター
別海地区	11月6日(水)	午後7時～午後9時	交流館ぷらと
尾岱沼地区	11月8日(金)	午後3時～午後5時	尾岱沼地域センターきらくる
中西別地区	11月11日(月)	午後1時～午後3時	中西別ふれあいセンター
西春別地区	11月11日(月)	午後7時～午後9時	西春別ふれあいセンター

議会報告会の内容

- ①議会活動活性化の取組報告
- ②各常任委員会の活動報告
- ③その他議会や町政に対する意見や提言を聴く

町議会が、町民の負託にこたえ、「笑顔あふれる豊かさ実感のまちべつかい」を実現するには、議会と町民との連携が重要です。平成23年4月に施行された自治基本条例にも規定されているとおり、情報の共有と町民参加をはかるため、地域の皆さんへ議会活動の状況を報告し、議会に対する町民の意見や町政に対する提言などを直接聞く場として「議会報告会」を開催します。

※ 都合の良い会場に直接お越しください。

※ 事前申し込みは不要です。

志を 受け継ぐ

二百年の伝統の技 献上西別鮭の技と心を受け継ぐ

べつかいぎよぎようきようどうくみあい
別海漁業協同組合



熟練者により手際よく洗浄が進められる



「献上西別鮭」に適した秋サケを選ぶ厳しい目

「献上西別鮭」西別鮭は献上鮭としても知られていますが、將軍への献上として史上に出てくるのは寛政12年（1800年）とされています。江戸奉行が国後までの視察の帰りに、西別川で塩引鮭にして持ち帰ったのが始まりと言われています。大変嚴重に箱詰・封印をして江戸に送られ、幕末まで根室詰所の行事として続けられたそうです。平成6年からは、伊勢神宮への奉納が毎年行われています。献上鮭は、山漬けにより醸成塩蔵した秋鮭を塩抜きし、天日干しする伝統製法により、秋鮭の本来のうまみが引き出されます。この製法では、漁獲されたオスの鮭より厳選されたものだけを使用するため、選別が重要となります。その後、内臓を取り除き塩蔵にするのですが、塩の量や1回目の漬かり具合などは、長い経験が必要とされます。別海漁協の中でも年配の方が、若い組合員に指導しながら技術を伝えていきます。今年の秋サケ漁は数年ぶりに豊漁になっていきます。当時、將軍家も舌鼓を打ったという鮭を全国の皆さんに味わっていただきたいと思います。

編集後記



実りの秋も終わり、ほっと一息つく間もなく、冬に向けての準備に余念がないと思われ
ます。

8月、9月は雨の日が多く、収穫作業に影響があったでしょうが、我が町の活力である
豊漁、豊作の便りはなによりです。

TPPの動きも懸念されるころですが、150年
余り積み上げた歴史をふまえ、叡智（えいち）
を出して、今後とも食料基地としての役割を
果たしていきたいものです。

（今西委員）

広報委員会に前号より参加しています。「べ
つかい議会だより」が、常に町の皆さんに議
会を知ってもらえる内容になることを目指し、
6人で集まり編集をしています。

集まってくる原稿に手を加えることもあり
ます。研修にも参加。内容は紙面の構成や写
真の撮り方まで様々です。学びも参考に議会
の情報を皆さんに発信していきたいと思っ
ています。

（瀧川委員）

つながり愛・ささえ愛・思い愛 震災からの復興をみんなの力で!!